

たま みが

玉の磨かざれば光なし



北広島町立大朝中学校
学校だより 2月号
令和4年2月16日(水)

《学校教育目標》 大朝(ふるさと)を愛し、すすんで学び続けるたくましい生徒の育成

自分をどう表現していきますか!?

1月27日(木), 2学年の職場体験学習でもお世話になっている大朝地域の事業所の方の協力を得て, 3学年を対象とした面接を実施しました。これまでも, 3学年では同級生同士で面接をし合ったり, 学年の教職員が面接官として面接をしたりしていました。なかには校長・教頭が面接官での面接をした人もいます。今回は学校以外の地域の方に面接官をしていただくことがポイントです。面接でのやりとりから, 具体的なアドバイスをいただくことで生徒自身が, 自分を見つめ, 今後の生活に活かしていくことを目的として実施しました。

※一部内容を変更して掲載しております。

【いただいたアドバイス (一部抜粋)】

- 第一印象は, ドアのところに立った時点で決まる。
- マスクをしているので, 目元を笑顔にする。
- (面接官の質問に対し) 短く, 言いたいことを簡潔に。
- 声(大きさ, はきはきとしゃべる)
- 将来の夢について, たくさん調べておく。
- 求められる人材に自分を重ねて答える。

【面接を通して考えた自分の将来(生徒の感想から)】

僕は, なんとなく大学に行きたいと思っていました。だけど, この面接を通して, 「何のために行くのか。そこで何をしたいのか」をもっと考えようと思いました。

そのようななか、令和5年度広島県立高等学校入学者選抜の基本方針が出されました。現在の入学者選抜との変更点は様々ありますが、大きな変更点の一つに選抜の方法として、「自己表現」が行われることが挙げられます。現在の中学2年生が受検する時からなので、当然1年生も関係のあることです。

広島県教育委員会から「自己表現を行う生徒のみなさんへ」と題した両面カラー刷りのものが届きました。右の図は、その一部を抜粋したものです。

1・2年生の皆さんには2月3日（木）の暮会時に、担任から配付されています。「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」は1日、2日で身に付くものではないだけに、今年度3学年で行ったような取り組みを1学年の時から継続して、実施していきたいと考えています。

地域の皆様、引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。

自己表現について

令和5年度公立高等学校等入学者選抜（現在の中学2年生が受検する時）から、受検生全員に自分自身のことを表現する「自己表現」を行います。

この「自己表現」は、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」である

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力

が、みなさんに、どのくらい身に付いているのかをみるために行うものです。

自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や、高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現してください。

※ 特別支援学校（職業コース以外の短め課程を除く）についても、高等学校に準じて「自己表現」を行います。

「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」

自己を認識する力： 自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのか、など自分自身のことを理解することができる力

自分の人生を選択する力： 自分の将来の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力

表現する力： 自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように工夫しながら伝えることができる力

くりっぴ 74号 WEB版から

ありがとうございます！

大朝ブロックで、あいさつレベルを上げていくために呼びかける「あいさつの標語」を町内の児童・生徒から募集しました。その中から12ほど標語を絞り込み、クロームブック（chrome book）を活用し、投票を行いました。その結果、最も投票の多かった標語を北広島町青少年育成協議会大朝支部の皆さんが、横断幕にして贈ってくださいました。

小学生、中学生にもよく見える大朝小学校の校庭脇のフェンスに飾っています。

春になると横断幕の後ろに見える桜が満開になります。

別れと出会いの春が近づいています。

1日1日を大切にしていきたいですね。

